

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	消防体制の充実			総合計画コード	113
部名	危機管理室	主管課名	危機管理室	主管課部課コード	020800
関連部課名	-				

1. 施策概要

めざす目的成果	埼玉県南西部消防本部との連携が図られ、消防・救急体制や消防団活動の充実したまちになっている。				
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化による高度な消防業務を推進するため、一部事務組合への負担金(消防及び議会総務費)を支出するとともに埼玉県南西部消防本部との連携を図る。 ・消防団業務の充実を図るため消防資機材の整備や老朽化した消防団詰所の更新整備を行う。また、災害時における被害の軽減を図るため消防団の活動を支援する。 				
個別計画 関連計画	計画名称	地域防災計画	計画期間	H 28 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一部事務組合への負担金(消防及び議会総務)を支出した。 ・消防団は、朝霞市消防出初め式のほか埼玉県消防協会朝霞支部消防連合点検を行った。 ・消防団の主な活動は、火災(17件 述べ343人)の災害出動のほか、訓練や整備出動等を行った。 ・消防団詰所、防火水槽、車両の維持管理を行った。 ・団本部を併設した第5分団詰所の改築工事に伴う、設計業務を実施した。 					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	災害時などに迅速に対応するため、一部事務組合及び消防団と連携を図った。				
	子育てが しやすいまち	災害時などに迅速に対応するため、一部事務組合及び消防団と連携を図った。				
	つながりのある 元気なまち	地域の防災訓練に協力することで、地域防災力の向上に寄与した。				
	自然・環境に 恵まれたまち	火災や自然災害に対応するため、一部事務組合及び消防団と連携を図った。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		1,314,623	-	-	-	-

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 消防団の定員充足率 (説明) 消防団定員(138名)に対する 充足率	%	100	100	100	100	100
		96	-	-	-	-
② (説明)						
			-	-	-	-

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input checked="" type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) ・朝霞地区一部事務組合では、消防救急無線のデジタル化、高度救助隊の設置のほか、消防、救急車両の更新、施設の整備等を行い管轄区域の災害対策の向上を図っている。 ・消防団が災害時に円滑な活動を行えるよう、人員の確保や施設・資機材等を適正に管理した。 ・消防団は、消火活動だけではなく、地震や水害などにも対応できるよう、各種訓練に取り組んできた。 ・平成22年度から女性消防団員を採用し、消防団の広報啓発及び各種訓練に参加している。 ・団本部を併設した第5分団詰所の改築工事に伴う、設計業務を実施した。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) ・高齢化社会の到来や大規模災害の発生が予想される中、消防救急体制を充実する必要があることから、朝霞地区一部事務組合に負担金を支出する必要がある。 ・消防団は大規模災害発生時は地域防災の中心的役割を担うことから、今後も、施設整備や処遇の改善等を図る必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ・消防団の団員確保が難しくなっていることから、団員確保のためのPR等を行うことが必要である。 ・災害対応も高度化しており、消防団の対応能力の向上が必要である。 ・消防団詰所の中には、老朽化した施設があり計画的に改築等を進める必要がある。 ・地域防災の担い手として、消防団と自主防災組織等との連携を図っていく必要がある。

4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) ・震災時や水害時等の大規模災害に対応できるよう、消防団員の確保、団員の対応能力の向上、詰所等の施設整備を図っていく。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) ・大規模災害時には、消防団と地域住民が一体となって防災活動を行うことが必要なことから、消防団と地域住民の連携を促進していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 朝霞地区一部事務組合負担事業(常備消防)	1,262,993	1,242,613	4	4	現状のまま
	2 消防団活動事業	11,655	15,035	4	4	現状のまま
	3 消防団運営事業	28,095	30,524	4	4	現状のまま
	4 消防団施設等整備事業	3,434	7,248	4	4	現状のまま
	5 消防水利整備事業	12,345	19,203	4	4	現状のまま
	計(単位:千円)	1,318,522	1,314,623	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	該当する第三者機関なし					
部長の意見	・引き続き、朝霞地区一部事務組合と連携し、消防・救急業務を推進していく。 ・首都直下の地震や局地的な集中豪雨等の災害の発生が懸念される中、消防団は地域の防災力の中心として大きな役割を果たす必要があることから、今後においても、消防団の活動環境を整備していく。 ・団本部を併設した第5分団詰所の建て替えについて建設工事を実施する。					